

## 「道内の感染状況等（道案）」に対する主な意見

## 1 有識者・専門家の意見

## 1-①

感染状況について増加傾向にある事、オミクロン株の市中感染者が大阪・京都で出ている事、年末年始という休暇で人の移動が予測されることなど、懸念材料はあるが、現時点での北海道としての対応については、問題はないと受け止めている。

北海道や各市町村のホームページに加え、報道機関等を通じた感染防止行動の徹底等のアナウンスをお願いする。

3回目ワクチン接種については、市町村が計画通り対応できるよう、ワクチンの確保と共に接種相談窓口でのフォローをお願いする。

## 1-②

今後の対策の考え方について、異論なし。

年末年始における道内外の人流増加は必至であり、感染拡大は避けがたい状況。オミクロン株のまん延は時間の問題で、道内でも早ければ1月から爆発的な感染拡大が起こりうることを想定した対応方針を確認しておくべきと考える。

オミクロン株の患者を原則入院とするのは理解できるが、5波のような病床逼迫による通常医療への影響が出ないように、医療機関や療養施設との役割分担について、関係各所の連携を密にするようお願いする。

## 1-③

患者数が増加に転じており、年末年始の人の移動や交流によるオミクロン株の市中感染が懸念される状況になっている。道や各市町村、医療機関では、年末年始においても、多大な負担がかかり、また年明け以降の患者急増による医療逼迫も心配される。

北海道や札幌市の現状を様々な媒体で広く伝え、一人でも多くの方にリスクの高い行動を少しでも控えていただくことが肝心。医療機関にも現状を共有していただくようお願いする。

また、3回目のワクチン接種が、重症化リスクの高い方、そのような方との接触が避けられない方々を中心にスムーズに進むよう、支援をお願いしたい。

## 1-④

道案に異論なし。

引き続き感染状況に注視していただきたい。

## 1-⑤

道案に異論なし。

オミクロン株の対応をお願いする。

1－⑥

道案に異存なし。

今後オミクロン株の流行が想定されるため、3回目ワクチン接種の推進と、新たな治療薬の提供体制の整備に注力をお願いしたい。

2 市町村・関係団体の意見

2－①

ワクチン接種について、データを見ると、道内のワクチン接種率は8割弱といった状況。オミクロン株により、道民の関心が高まっているのが好機であり、1人でも多く接種するよう、更なる加速に向けた対応をお願いしたい。

加えて、ワクチン3回目接種についても、滞ることなく進めていただきたい。

ワクチン・検査パッケージについて、北海道でも「ワクチン・検査パッケージ」が12月17日より登録の受け付けが開始されたが、「ワクチン・検査パッケージ」がしっかりと機能するよう、今のうちに万全の体制を整えていただきたい。